

浄教寺真宗関係史料 一括(4 点)

浄教寺真宗関係史料

じょうきょうじしんしゅうかんけいしりょう

指定有形文化財

歴史資料

所有者

宗教法人 浄教寺

所在地

大阪市鶴見区焼野

紹介



焼野の浄教寺は、『大阪府全志』によれば明応 7 年(1498)に専信が開基し、慶長 4 年(1599)に寺号公称という。絹本著色方便法身阿弥陀如来画像は、慶長 4 年(1599)の本願寺派 12 世門主准如の裏書を伴う。3 尺×1 尺の大幅の本尊で、仏身の総高は 59cm、像高 38cm と、16 世紀末の画像としてはかなり大きい。裏書には「河内国茨田郡十七ヶ所之内六ヶ所 焼口惣道場」と宛所の記載があり、本願寺教団から在地に下付され伝来した史料であることがわかる。また、紙本墨書の六字名号は蓮如筆と伝える室町時代の史料であり、開基時の本尊と思われる。いずれも鶴見の焼野の地に伝来する貴重な中世から近世初頭の史料である。